

神経耳科

○神経耳科の概要

1. 神経耳科の特色

神経耳科は耳鼻咽喉科の一つの専門的診療領域subspecialityであり、主な対象領域は、めまい・難聴・耳鳴などのめまい・平衡障害と聴覚障害（神経耳科疾患）、顔面神経疾患（急性顔面神経麻痺）であるが、その他にも耳鼻咽喉科領域の末梢および中枢神経疾患を扱うことを目標としており、耳鼻咽喉科に関する神経学、あるいは神経に関する耳鼻咽喉科学ともいえる。従って神経耳科は耳鼻咽喉科学を基盤として、神経内科、脳神経外科、眼科などとも密接な関連を持つ、学際的な領域である。診療は週6日の外来診療で年間新患者数は約2,000名、年間入院患者数約100名である。

わが国の大学病院では数少ない診療科であることを誇りに、日常診療に努力している。

2. 診療実績（2018年度）

外来新患内訳

聴覚障害	感音難聴	547 名	伝音難聴	60 名
	その他の難聴	77 名	耳鳴症	198 名
めまい疾患	末梢前庭疾患	612 名	中枢前庭疾患	25 名
	その他	299 名		
	顔面神経障害	140 名	その他の疾患	89 名

入院患者内訳

めまい疾患	11 名	聴覚障害	49 名
顔面神経麻痺	41 名	その他	0 名

3. 診療スタッフ

伊藤 彰紀（教 授）	中枢性めまい、メニエール病、内耳麻酔治療
新藤 晋（兼任講師）	めまい・平衡障害検査法の開発
水野 正浩（客員教授）	神経耳鼻咽喉科学、前庭誘発頸筋電位検査
柴崎 修（非常勤講師）	突発性難聴、自己免疫性難聴、心因性めまい・難聴
三島 陽人（非常勤講師）	後迷路性難聴の臨床、鼻アレルギー、滲出性中耳炎の臨床
加藤 晴弘（非常勤講師）	メニエール病、顔面神経麻痺、突発性名難聴
杉崎 一樹（非常勤医員）	めまい・難聴疾患全般
島貫 朋子（非常勤医員）	めまい・難聴疾患全般

4. 臨床研修プログラムの特色

当科のプログラムは「新医師臨床研修制度」の目標のほかに、耳鼻咽喉科学研修の一部を含む。従って、将来どの診療科でも必要なめまいや顔面神経疾患などの診療を研修できるだけでなく、耳鼻咽喉科専門医を目指すにあたって必須の内容である。

5. 指導責任者

伊藤 彰紀（教授）
新藤 晋（兼任講師）

6. 週間予定	月	火	水	木	金	土
早朝	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
午前	外来	外来	外来	外来	外来	外来
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	回診	病棟
	検査	検査	検査	検査	医局会 抄読会	病棟

○神経耳科の学習目標

一般目標（GIO）

臨床医に必要な基本的な臨床能力を身につけるために、代表的な神経耳科疾患の診断と治療の実際を学ぶ。

行動目標（SBOs）

1. 神経耳科疾患の基本的機序について理解できている。
2. 神経耳科疾患に関する基本的な問診ができる。
3. 神経耳科疾患に関する基本的な所見（耳鼻咽喉所見、神経所見）がとれる。
4. めまいの基本的検査（体平衡検査、眼振検査、温度刺激検査）ができる。
5. 電気眼振図検査の結果を解釈できる。
6. 標準純音聴力検査を行い、その結果を解釈できる。
7. 精密聴力検査の結果を解釈できる。
8. 顔面神経の基本的な検査を解釈できる。
9. めまい疾患の鑑別診断と治療方針について述べることができる。
10. 感音難聴の鑑別診断と治療方針について述べることができる。
11. 顔面神経麻痺の鑑別診断と治療方針について述べることができる。

研修方略（LS：Learning Strategies）

月曜日から土曜日まで、午前8時30分からの病棟回診で始まる。指導医のもと、ベッドサイドでの診察から、治療方針の確認まで行なう。研修中に入院した患者の受け持ちとなるが、あくまでスタッフ医師が主治医となる。

午前9時から外来研修を行う。新患患者の予診をとり、必要な検査、考えられる疾患、鑑別すべき疾患を挙げた上で、スタッフ医師の診察に立ち会う。この間、適切な検査の進め方、検査結果の解釈、診断確定に至る考え方を個々の患者を通して学ぶ。

午後は、電気眼振検査、特殊聴力検査（ABR、ASSR：聴性定常反応）、各種平衡機能検査に立会い、検査の意義、実際の手技、そして結果の解釈を学ぶ。検査終了後、スタッフ医師と再度病棟の回診を行う。この際、必要に応じて看護部、薬剤部などコメディカルスタッフとの引継ぎを行い、安全な入院管理を学ぶ。

研修評価法（EV：Evaluation）

当科では研修期間中にその都度、知識・手技・行動面の評価を行い、その場で研修医本人にフィード・バックを行うように心掛けている。知識面で不十分と評価された場合には、必要な知識の補填および学習の手引きを行う。手技面で不十分と評価された場合は、研修期間中に安全に配慮しながら反復して実習を行う。行動面では医師として望ましい態度とはどのようなものか、自己評価してもらう。

研修に関する問い合わせ先

神経耳科医局：外線 049-276-1229 伊藤彰紀